

平成28年度  
教育委員会活動の点検・評価報告書

知名町教育委員会  
平成29年9月

# I 点検・評価の概要

## 1 はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」の一部改正により、すべての教育委員会が「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、住民に対して公表するように義務づけられた。また、その実施にあたっては、学識経験者の知見を活用するよう義務づけられた。

## 2 点検評価の実施について

この点検評価は、教育委員会の会議による審議状況や教育委員による調査活動と、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行いました。

点 数	内 容
4	順調に達成しているもの
3	おおむね順調に達成しているもの
2	達成見込みがあるが課題があるもの
1	順調でないもの

## 3 知名町教育委員会の取組方針

今回で9回目となり、前回平成27年度の点検・評価を踏まえ、同様に評価項目を4段階での数値評価とした。前回は教育委員会関係と学校教育関係、学校給食センターの3項目とし、今回の評価項目は、社会教育関係、公民館関係、図書館関係について、教育委員4名による自己点検、自己評価を実施した。平成29年8月の定例教育委員会で結果を集約のうえ、評価委員会での評価委員による意見を集約したものを本報告書に入れ、平成29年9月の第3回定例議会で報告することとした。

- (1) 社会教育関係では、評価項目を「(1) 社会教育指導体制の充実」「(2) 家庭教育の支援・充実」「(3) 青少年教育の充実」「(4) 芸術文化活動の促進」「(5) あしびの郷・ちなほの活用」「(6) 文化財の保存活用」「(7) スポーツ・レクリエーションの推進」の7項目について、点検評価を行った。

生涯学習課の年間の行事、各種協議会開催内容、文化活動、文化財の活用、スポーツ大会開催状況やそれらの資料、課長の説明質疑をもとに、4段階の数値による評価と記述による意見をまとめた。

(2) 公民館関係では、評価項目を「(1) 公民館講座の充実」「(2) 自治公民館長研修会の充実」「(3) 短歌コンクール実施」「(4) 町民作品展示会の開催」「(5) コミュニティーづくり推進協議会の開催」「(6) 成人式の実施」「(7) 屋号考察」「(8) 施設整備」の8項目について点検評価を行った。

町公民館の年間をとおした各種講座の継続など、各種事業の開催状況やそれらの資料、館長の説明質疑をもとに、同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

(3) 図書館関係では、評価項目を「(1) 図書館運営の充実」「(2) お話宅配便の充実」「(3) 図書館まつりの充実」「(4) ブックスタートの充実」「(5) おはなしの時間の充実」の5項目について点検評価を行った。

お話宅配便の実施など、図書類の年間をとおした活用推進、各種事業の開催状況について、館長の説明質疑をもとに、同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

教育行政評価委員

役 職 等	氏 名
元 教 員	沖 野 富 秀
元 幼 稚 園 教 諭	中 瀬 み どり

## II 点検・評価結果

### 1 社会教育関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 社会教育指導体制の充実	<p>社会教育指導体制の充実を図り、町民の多様な学習要求に応じて、学習機会の拡充と学習の気運づくりに努めているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>社会教育法に基づき、社会教育委員会を開催し、社会教育に関する諸立案や意見交換を行った。</p> <p>社会教育委員会が年1回しか開催されなかった。</p>	2.9
(2) 家庭教育の支援・充実	<p>心豊かでたくましい子どもを地域ぐるみで育てるために、家庭教育の充実及び支援は図られているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>家庭の教育力の向上を目指し、家庭教育支援員による小学校新1年生入学説明会・PTA教育講演会での家庭教育講演会・家庭教育相談業務等様々な取り組みを行った。</p>	3.6
(3) 青少年教育の充実	<p>家庭や地域の教育機能の活性化を図り、実践活動を通して、豊かな心をもった青少年の育成と自主活動ができる青少年団体の育成が図られているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>知名町青少年育成連絡協議会（年5回）を開催し、地域子ども会活動の活性化を図った。</p> <p>青少年にふるさとのよさを再発見させ、地域ぐるみで青少年を育てる気風づくりを促進するため、青少年ふるさと美化活動を実施した。</p> <p>活力ある地域作りを目指し、主体的に取り組むジュニアリーダーを養成するため、中学生2名を「大島地区ジュニアリーダー研修会」に参加させた。</p> <p>「青少年のための科学の祭典」は平成28年度で2回目の開催となり、630名の参加者であった。参加者の9割程度は児童生徒で、和泊町からの参加者もいた。出展は20ブースあり、実践活動を通して教育機能の活性化を図った。</p> <p>ふるさとの豊かな自然環境にふれるとともに、地域における実践的な子ども会活動のあり方やリーダーの役割等について研修し、リーダーとしての資質向上を図るため、沖泊海浜公園で小学5～6年生を対象にサマーリーダー研修を行った。竹細工作製、植物・地質教室、KYT（危険予知）学習を行った。</p> <p>知名町の児童生徒の優れた個性を発見し、知名の子表彰として表彰した。心身ともに健康な青少年の育成を図ることを目的として、町内でがんばっている小学生・中学生・高校生の27名、2団体を表彰した。</p>	3.7
(4) 芸術文化活動の促進	<p>町民の多様な芸術文化活動を支援するとともに、芸術文化団体及び知名町の文化を担う青少年の育成強化が図れているか。</p>	

	<p>(反省・意見)</p> <p>文化協会青年部主催による第16回「五月の祭典」を開催し、芸術文化団体に舞台発表の機会を提供した。</p> <p>出演機会の少ない幼児や低学年の生徒を中心に舞台の場を提供するため、第24回知名町ふるさと夏祭りにおいて、文化協会加盟団体による舞台発表を行った。</p> <p>町制施行70周年記念生涯学習フェスティバルにおいて、文化協会加盟団体及び公民館講座生による舞台発表・作品展示を行った。</p> <p>青少年・一般の演奏技術の向上と発表の機会の舞台として、第33回沖永良部コンクールを開催した。</p> <p>地域独自の文化である島唄島ムニを保存継承するため、「島唄島ムニ大会」を開催した。</p>	3.8
<p>(5) あしびの郷・ちなの活用</p>	<p>あしびの郷・ちなの効率的な運用と自主文化事業による住民参加型事業・鑑賞事業等の拡充が図られているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>平成28年5月4日に、住民参加型事業としてメントマリ公園にて野外劇「キサの物語」を実施した。出演者約30人・観客約200人</p> <p>平成28年7月22日に、みやまコンセールに所属する演奏家3名の演奏による、霧島国際音楽祭みやまふれあいコンサートinちなを実施した。観客約100人</p> <p>平成28年10月24日に、日本の踊り(和太鼓や傘踊り、津軽三味線や阿波踊り)を舞踊集団菊の会が学校公演・一般公演を実施。</p> <p>平成29年1月15日に、0歳児から大人まで全ての人が楽しめる音楽会とし、エラブDEメルヘンコンサートを実施した。観客約100人</p> <p>平成29年2月18日に、今年で17回目となる南西航空音楽隊ファミリーコンサートを実施した。観客約100人</p>	3.7
<p>(6) 文化財の保存活用</p>	<p>歴史的な文化遺産や伝統芸能、埋蔵文化財の調査・保存・啓発活動は推進されているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>史跡めぐりや講習会、子ども会の体験事業を通して町内の文化財の普及啓発を図った。</p> <p>町指定史跡「屋子母セージマ古墳跡」の測量・確認調査を実施した。29年度、トゥール墓の報告書刊行を実施する計画。</p> <p>和泊町教育委員会と連携し、「えらぶ世之主没600年」事業で知名町所在のトゥール墓のポスター展を実施した。</p> <p>全郡で取り組んでいる「奄美群島(シマ)遺産」として、本町から「ジッキョヌホー」と「久志検の千年フクギ」をあげた。今後も地域遺産の掘り起こしを実施する。</p>	3.5

<p>(7) スポーツ・レクリエーションの推進</p>	<p>町民のニーズに対応したスポーツイベントを開催し、町民参加型の拡充に努めているか。また、スポーツや健康づくりに関する情報提供し、生涯スポーツの普及に努めているか。</p>	
	<p>(反省・意見)</p>	
	<p>町民すべてが一堂に会し、スポーツやレクリエーションを通して健全な心身の鍛練と、融和や団結を図ることを目的として町民体育大会を実施した。</p>	
	<p>町体育協会に加盟競技団体が各種スポーツ大会を開催した。</p>	
	<p>スポーツ少年団によるサッカー・バレー・バスケット・ソフト・卓球等各種大会を開催した。</p>	
	<p>町民の親睦・融和を図るため、29年1月2日に「町内一周駅伝競走大会」を実施した。</p>	
	<p>駅伝を通して、スポーツ活動の振興を図り、両町の親睦・交流を深めることにより、活気ある島づくりに資することを目的とした「沖永良部島内一周駅伝競走大会」を29年2月5日に実施、中高校生チームを含む18チームが参加し活気のある大会となった。</p>	<p>3.4</p>
	<p>町内の60歳以上の高齢者を対象とした「いきいき健康スポーツ大会」を29年2月14日に開催し39チーム・195名が参加した。</p>	
	<p>町民の健康と体力の維持・増進、スポーツのための基礎体力づくりのサポートを目的として、トレーニング室を整備し、28年4月24日から利用を開始しました。年間約1,200名の方が利用した。</p>	
	<p>知名町に適した総合型地域スポーツクラブの設立については、日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げ、文部科学省が実施するスポーツ振興施策で、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する。地域密着型のスポーツクラブ。「全国各市町村に少なくとも1つの総合型地域スポーツクラブをおく」としているが、本町には、まだ設立されていない。今後、本町に適した継続可能な総合型地域スポーツクラブの設立を進めたい。</p>	

## 2 公民館関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 公民館講座の充実	<p>公民館は、町民が生涯の各時期を通して学習の機会が得られるように配慮しつつ、町民のニーズに対応するべく多様な講座、教育等を提供する。また、学習意欲を高め、自主的、主体的な学習活動への参加促進を図った。白百合大学校1教室・受講生24人、中央公民館講座15教室・受講生220人、地区公民館講座2教室・受講生35人 短期講座2教室・受講生46人、自主講座1教室・受講生16人、総勢公民館講座受講生325人。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>講座を開設しても、受講生の応募が少なく閉講になった講座や高齢化に伴う受講生の減少(しらゆり大学) 交通の確保、他の行事との重複のため講座を休む。行事が多すぎるのかなと感じることもある。</p>	3.5
(2) 自治公民館長研修会の充実	<p>事例発表を交えた自治公民館長(区長)研修会を開催して、集落がかかえている問題等について、共通認識を持ち課題解決の検討を図っている。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>大島地区経営研究会へ不参加のため、地区の抱える問題等の把握ができなかった。自治公民館長(区長)も毎年2名程度の参加ができればと思う。</p>	3.4
(3) 短歌コンクール実施	<p>応募総数835点小学生の部214点、中学生の部232点、高校生の部345点、一般の部44点の応募数でした。延べ応募者数は464人でした。それぞれ短歌大賞・優秀賞・奨励賞・入賞を選出し毎年、生涯学習フェスティバルで表彰及び展示をしている。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>一般の応募者数及び作品が増えればと思う。</p>	3.6
(4) 町民作品展覧会の開催	<p>資料室横の展示台に竹細工製品の展示、図書館事業の活動風景写真等を展示している。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>生涯学習フェスティバルでの展示のみでなく公民館での展示(展示期間の配分等を考えて)ができればと思う。</p>	3.3
(5) コミュニティづくり推進協議会の開催	<p>重点実践事項の協議及び町民の実践「申し合わせ事項」の検討協議をし、「ふるさと美化運動を推進しましょう」がまだまだ、不十分であるので今年度も重点実践事項とした。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>ふるさと美化運動の推進は地域全体が一体感を持たなければ推進は難しいと思う。まずはゴミの持ち帰り運動から手がけなければと思うところである。</p>	3.4
(6) 成人式の実施	<p>対象者91名中、83名参加、男44名、女子39名が参加した。実行委員会を立ち上げ思いで深い成人式が挙行された。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>小学校、中学校までの繋がりを感じる次第であった。昔も今も同じ感覚だと思えばほほえましい限りであった。</p>	3.7

(7) 屋号考察	屋号考察を手がけましたが、半数以下の出来で調査としては、結果がでなかった。後の機会に再度実施したいと思う。	2.7
(8) 施設整備	<p>公民館ホールの蛍光灯の取替、クーラーの取替、テーブルの購入などこの2年間で施設整備を実施した。</p> <p>.....</p> <p>(反省・意見)</p> <p>.....</p> <p>老朽化した機器ばかりで音響設備、クーラー設備等順次整備の必要が有る。</p>	3.1



### 3 図書館関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 図書館運営の充実	<p>職員 館長（公民館長兼任） 1名 副館長（公民館副館長兼任） 1名 司書（公民館主査兼任） 1名 臨時職員 2名 パート 1名</p> <p>休館日 月曜、祝日、月末資料整理日、年末年始、特別資料整理期間</p> <p>開館時間 4月～9月 午前10時～午後6時30分 10月～3月 午前9時30分～午後6時</p> <p>資料費 200万円（図書費143万円、雑誌、新聞、ビデオ57万円） 蔵書数 52,414冊（うち児童蔵書 19,734冊） 町民一人当たり 8.74冊 リクエスト受付 624件</p> <p>（反省・意見）</p> <p>本の貸出冊数は、46,846冊、住民一人当たりの貸出数は7.69冊で県下3位。（28年度実績）</p> <p>本屋が無く、読書離れが加速し、携帯やスマホで読書する方が増加しつつあります。少しでも歯止めになるよう住民のニーズにあった選書が求められていると思う。</p>	3.6
(2) お話宅配の充実	<p>5月と11月の読書週間に合わせ、各学校区の公民館を巡回して絵本の読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアターなどの実演を通じて、子供達が、本に親しみが持てるように図った。 総参加者数 298名 貸し出し総数 154冊</p> <p>（反省・意見）</p> <p>以前は終了時刻が遅く、まっ暗な道を一人歩いて帰る児童がいたため、開始時刻を1時間早めた結果、明るい時間帯に帰宅出来るようになった。</p> <p>親子での参加が少なく感じた。また、スポーツ少年団加入者の参加がなかったので、学校や指導者との調整が必要だと感じた。</p>	3.5
(3) 図書館まっりの充実	<p>年1回、12月に開催。下平川小学校よみっこくらぶの方と知名町立図書館職員合同で行いました。絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどの実演。「作って遊ぼう作って楽しもう」をテーマにスライム制作、クリスマスツリー制作などを実施。 総参加者 144名。</p> <p>（反省・意見）</p> <p>町内の読書グループとの共演や制作体験など参加型の図書館まっりに移行した。</p> <p>科学の祭典と同日のため、参加者が少ないと感じたが、シャトルバスの運行が参加者には好評だった。昼食スペースの確保など、両方のイベントに参加できる工夫が必要。</p>	3.4
(4) ブックスタートの充実	<p>年6回図書館にて6ヶ月の幼児を対象に、オススメ絵本2冊、よだれかけ、県立図書館絵本ガイド等が入った「ブックスタートパック」を、読み聞かせ方法の指導、指遊び、ベビーマッサージを行い、34名に配布した。</p>	

	<p>(反省・意見)</p> <p>今回で85回を終えた。参加者アンケートでは今後も実施して欲しいとの意見を頂いているが、子どもが6ヶ月を越えると保育園に入園するなど保護者の就業などで参加が困難。実施時期など改善が必要。</p>	3.1
<p>(5) おはなしの時間の充実</p>	<p>毎月第2・4土曜日にその月のテーマにあった絵本・紙芝居・エプロンシアター等の実施と簡単な工作を行っている。 総参加者 217名。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>知名校区の子供達の参加があるが、遠隔地の参加がない。各こども園等への呼びかけや周知を図っていく。</p>	3.4

### Ⅲ 教育行政評価委員意見のまとめ

#### 1 社会教育関係について

##### (1) 社会教育指導体制の充実

社会教育委員会を年1回開催し、社会教育に関する諸立案に取り組んでいるようであるが、報告的な会議で終わらないように、広く社会教育委員の意見が反映されるような会議にして欲しい。

また、社会教育委員のスキルアップのため、各種研修等に積極的に参加させて欲しい。

##### (2) 家庭教育の支援・充実

家庭教育支援委員会を中心に、家庭教育について積極的に支援・推進が図られているようであるが、今後も更なる支援・充実に努めて欲しい。

##### (3) 青少年教育の充実

青少年育成連絡協議会を開催(年5回)し、郷土を愛し、郷土を興す人材の育成をめざす環境づくりの推進が図られる中、青少年ふるさと美化活動等の実践活動、えらぶっ子のつどい、サマーリーダーキャンプ、大島地区ジュニアリーダー研修会への参加等を通して本町の青少年が自分たちのふるさとに誇りを持ち、豊かな心を育みつつ、将来の地域のリーダーとして育っていくためには、様々な機会を通して学んでいくことがとても大切なことである。今後もそれぞれの活動において成果を上げられるよう取り組んで欲しい。

27年度から開催した科学の祭典は、28年度で2回目となるが、参加者、出展ブースも増加傾向にあり、これからの日本を担うであろう子ども達に、科学を中心に様々な体験活動を通して、教育力の向上、生きる力の体得等が図られているのは評価に値する。

「知名の子表彰」は、がんばっている子供・団体を認めてあげ、褒めて表彰することが子ども達の励みとなり成長へとつながる素晴らしい取り組みである。

今後も、町民が関心を持って子供たちの活動を見守る場面が増えていくことを大いに期待したい。

##### (4) 芸術文化活動の促進

町民の多様な芸術文化活動の成果を発表する場として、五月の祭典・生涯学習フェスティバルの舞台・作品展示・沖永良部音楽コンクール等、多くの行事が計画実施されており発表者の技能向上に寄与すると共に、町民の多数が鑑賞し娯楽の場、情操豊かな生き生きとした町づくりに大いに貢献している。

また、島唄島ムニを保存伝承するための「島唄島ムニ大会」も恒例行事となっており、インフルエンザでやむなく中止になった子ども芸能祭も郷土芸能を保存・

伝承していくために大切な行事なので、開催時期等を考慮して継続的に開催して欲しい。

#### (5) あしびの郷・ちなの活用

町民の生涯学習活動の支援として、住民参加型事業として演劇「キサの物語」を上演し地元の子どもの演劇への興味や、演じきった充実感と自信を持たせる良い事業であった。

また、霧島国際音楽祭みやまふれあいコンサートの開催や、舞踊集団菊の会の学校公演・一般公演・エラブDEメルヘンコンサート・南西航空音楽隊ファミリーコンサートのような多彩なイベントのお陰で、多くの町民がトップアーティストの演奏や演劇を鑑賞し素晴らしい演技に触れる場の提供は、「教育・文化の町」を宣言する本町として喜ばしい限りである。今後も、同様の事業及び更なる新しい取り組みを推進して欲しい。

#### (6) 文化財の保護活用

本町には、県指定・町指定の文化財として種別では天然記念物・名勝・建造物・有形民族文化財・民族資料・史跡・芸能等が多くあり、その案内板や史跡の説明文も掲示してあり観光旅行者にも役立っている。

さらには、資料保存館の整備並びにそれら貴重な資料をDVD等記録媒体に保存する取り組みなども推進して欲しい。

また、町指定史跡「屋子母セージマ古墳跡」の測量・確認調査も実施されているので成果に期待したい。

さらに、「奄美遺産」探しの一環として、瀬利覚字「ジッキョヌホー」久志検字の「千年フクギ」を候補に上げるなど、地域遺産の掘り起こしや史跡巡り講習会・体験活動等も文化財保護審議会と連携しながら、町内の文化財の普及啓発を進めることは大切なことである。各集落の伝統芸能の保存、伝承についても保存会をバックアップして推進して欲しい。

#### (7) スポーツ・レクリエーションの推進

町民が楽しく豊かな心で充実した生きがいを感じる日々を過ごすためには、心身共に健康でなければならない。幼児から高齢者にわたる町民のニーズに対応したスポーツ・レクリエーションの推進に努めていることは評価に値する。町体協のスポーツ大会やスポーツ少年団の各種大会、町民体育大会、町内一周駅伝競走大会、島内一周駅伝大会、高齢者いきいきスポーツ大会等は町民の楽しい行事となっている。

また、町民の健康と体力の維持・増進のため町民体育館2階のトレーニング室の整備は、2020年に開催される国民体育大会（パワーリフティング競技）の機運醸成も図られ、町民の基礎体力の向上にも繋がっている。

また、本町に適した総合型地域スポーツクラブの設立及び指導者の養成に向けた取り組みも着実に進めて欲しい。

## 2 公民館関係について

### (1) 公民館講座の充実

生涯学習社会における町民のニーズに応えるために多様な講座を開設し、多くの受講生が自発的に学習し、その学習の成果を発表したりして充実感を享受出来ることは素晴らしいことである。

講座の開設については、講師・指導者の不足や依頼等でご苦労もある中、ニーズに対応した講座の開設等更なる公民館講座の充実に期待します。

また、その成果を発表する場としての生涯学習フェスティバルへの出展、舞台発表等に大いに期待します。

### (2) 自治公民館研修会の充実

自治公民館の機能・役割を的確に把握し、区長として地域に根ざした活性化ある字運営が出来るよう研修の機会を図る必要がある。

### (3) 短歌コンクールの実施

小・中・高生の応募者が例年多いのは、各学校の取り組みが組織的に行われているからであろう。一般の応募は、関心のある人だけに留まっているように思われる。

今後、広報の方法や募集期間の再考等を通して、婦人会や老人会、白百合大学等の組織に働きかけ、団体活動の一環としての俳句・短歌づくり等を推進する必要がある。

### (4) 町民作品展示会の開催

生涯学習フェスティバルで沢山の出品・展示があるが、その時だけで終わるのではなく、年間を通じて中央公民館の展示コーナー等で展示して欲しい。期間毎に作品を入れ替えメリハリのある展示コーナーにしてはどうでしょうか。

また、展示替えがあった時には、防災行政無線などを使って広く広報して欲しい。

### (5) コミュニティーづくり推進協議会の開催

「明るく豊かな町づくり」を目指して、毎年度のように重点実践事項及び「申し合わせ事項」について各種団体の代表等がコミュニティーづくり推進協議会で協議して、その実践状況についても意見交換がなされている。実践事項によってはその浸透状況に差異はあるが、持参金 3,000 円も数年前よりは守られて来ていると実感している。

また、「申し合わせ事項」の浸透のためには、町当局の広報は勿論のこと、推進協議会に参加している各種団体の代表等がそれぞれの団体会員に会合等で説明し、理解させる事が肝要ではないかと思う。特に字区長は、総会や常会等で字民に説明して実践状況を把握させる必要があると思う。さらには、推進会員や官

公庁職員は、祝日の国旗掲揚・美化活動・持参金等の実践を率先垂範して浸透を広げていく必要がある。

#### (6) 成人式の実施

新成人者が司会・アトラクション等を計画して、来賓や家族の見守る中で、華やかで整然とした成人式が対象者の90%以上参加して開催されており素晴らしい。今後も成人式を故郷で迎える若人が増えることを願う。

#### (7) 屋号考察

方言と同じように失われつつある屋号について調査し、後世に伝承していく取り組みは評価に値する。今回、完成に至らなかった様であるが、継続して調査を行い早い段階での成果に期待する。

#### (8) 施設整備

町民の利用頻度の多い公民館及びその設備は、生涯学習の拠点施設として快適に利用できるよう年次的な修繕・整備図って欲しい。

### 3 図書館関係について

#### (1) 図書館運営の充実

図書の貸出冊数46,846冊、町民一人当たり7.69冊は、県下で毎年のように上位にランクされており、蔵書数も52,414冊（うち児童蔵書19,734冊）町民一人当たり8.74冊と充実した図書館経営がなされている。今後もレファレンス（参考質問）やリクエストなど利用者目線での図書館運営を期待する。

#### (2) お話宅配便の充実

町図書館での業務だけでなく、各学校区の公民館を巡回しての読み聞かせやパネルシアター・エプロンシアター等の実演を通して本に親しむ機会を提供していることは読書活動の推進につながる大変素晴らしいことであり継続して実施して欲しい。

また、近年参加者が減少傾向にあるようであるが、土日の活用など参加しやすい日時等の検討も必要ではないでしょうか。

#### (3) 図書館まつりの充実

地域参加型の図書館まつりとして開催され、保護者や職員が講師になって、読み聞かせ、エプロンシアター・ペープサート等を通して、本好きな子どもを育てる取り組みは大変良いことである。

今回、他の行事と重なり、参加人数が心配されたようであるが相乗効果もあり、双方とも盛況だったようなので、今後も効率的に町民が参加できるイベントにして欲しい。

#### (4) ブックスタートの充実

6ヶ月の幼児・母親を対象に「ブックスタートパック」を配付して、読み聞かせのポイント、ベビーマッサージ、手遊びを通して幼児の頃から本に親しませる取り組みは大変素晴らしいので、今後もますます参加者が増える工夫をして欲しい。

#### (5) おはなしの時間の充実

毎月2回テーマに沿った絵本・紙芝居等を通して、本好きな子どもを育てる取り組みは素晴らしいので今後も継続して欲しい。知名地区以外の子どもの参加が少ないのは、交通手段等やむを得ない事情があると思うが、子ども園のバスを運行してもらうなどの工夫も検討して欲しい。

### [ 総 評 ]

平成28年度については、教育委員会生涯学習課が担当している社会教育関係・公民館関係・図書館関係の各分野について、1年間の事業実施内容とその自己評価及び成果と反省点・課題等について、生涯学習課長から具体的に説明を受け評価を行った。

生涯学習が叫ばれて久しいが、町民が生きがいを持ち心豊かに充実した生活を送るための創意工夫がなされている事業が多く、大きな成果を上げていることが伺えて高く評価します。

今回の自己評価及び成果と反省点・課題等を踏まえて、さらなる成果を旨とすると共に今後に残されている課題への取り組みが、計画的に推進されることを評価意見とします。